

施策名：青少年の健全育成

事業名	担当課・室名	ページ
大分県少年の船運航事業	私学振興・青少年課	1 / 2
青少年自立支援対策推進事業	私学振興・青少年課	2 / 2

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	大分県少年の船運航事業		事業期間	昭和55年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造		
						施策区分	青少年の健全育成		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課		評価者	私学振興・青少年課長 安藤 公典		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	青少年の日常生活における実体験不足等が指摘される中で、青少年の豊かな心をはぐくむため体験活動の機会の確保が求められている。	事業の目的	体験活動プログラムを通して参加者の規範・社会性への意識の醸成、ひいては心身ともにたくましい青少年の育成を図るため、少年の船運航事業に要する経費について補助する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①少年の船運航事業への補助 少年の船運航事業(船内研修・環境教育・平和教育など)に要する経費の一部を補助(参加者598人) ②リーダー・班長研修の実施 小学生団員の研修効果を高めるための事前・事後研修	①	43,774	総コスト	54,968	55,214	54,968
	②	3,194	事業費	46,968	47,214	46,968
	③		(うち一般財源)	41,336	41,582	41,336
	④		人件費	8,000	8,000	8,000
	計	46,968	職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
乗船応募者数(小学生：人)	乗船応募者数(小学生：人)	目標値	258	278	278		93%		目標値						a
		実績値	471	425					実績値						
		達成率	182.6%	152.9%					達成率						
	リーダー・班長研修の開催(回)	目標値	6	6	6		7%		目標値						
		実績値	6	7					実績値						
		達成率	100.0%	116.7%					達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
乗船した社会人リーダー数(累計：人)	乗船した社会人リーダー数(累計：人)	目標値	212	217	225		a	県内各地から参加した小学生が、4泊5日の集団生活を通じて、規範意識・協調性・コミュニケーション能力や対人関係能力などの社会性の向上を図ることができた。また、船内や沖縄での現地学習を通じて、平和を愛する心や環境保全意識の育成も図ることができた。さらに、スタッフとして乗船したリーダーがたくましい青少年に成長していく姿が見られた。
		実績値	214	222				
		達成率	100.9%	102.3%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 小学生の応募倍率の増 参加者一人ひとりが満足感、充実感を感じられる研修プログラムの再構築 特別な支援が必要な団員に対するきめ細やかな支援のあり方 小学生団員の研修効果を高めるためのスタッフ対象の事前研修の充実 青少年育成指導者及び班長、副班長の確保 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 大分県少年の船公式フェイスブックやポスター等各種広報媒体を活用したPR対策の強化 団員に身につけてほしい力を明確にし、研修プログラムに位置づけ、全体での共通理解 教育の専門家を含めた研修プログラム検討会の実施 特別な支援が必要な小学生団員への専門的な対応のため、リーダー等の研修の充実 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	青少年自立支援対策推進事業		事業期間	平成19年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
				施策区分	青少年の健全育成		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課		評価者	私学振興・青少年課長 安藤 公典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	インターネットなどの情報通信技術の進展、非正規雇用をはじめとする経済・雇用環境の急激な変容など、青少年を取り巻く社会環境の変化になじめない若者への支援が課題となっている。	事業の目的	ニート・ひきこもりなど社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年の社会的自立を支援するため、本人やその家族からの相談に応じた適切な支援先につなぐ総合相談窓口を運営する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①青少年自立支援センターの運営 おおいた青少年総合相談所内で青少年自立支援センターを運営し青少年及びその保護者などへの総合相談を実施 委託先：社会福祉法人 清浄園	①	14,175	総コスト	25,812	31,034	35,252
	②	9,860	事業費	20,812	26,034	30,252
②おおいた青少年総合相談所の運営 青少年の相談・支援を行う3機関を1か所に集約して開設した「おおいた青少年総合相談所」を運営(平成26年度～)	③		(うち一般財源)	9,638	10,930	20,252
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	24,035	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	青少年自立支援センターの周知・広報件数(件)	目標値		120	125	130			59%	目標値					
実績値			120	192			実績値								
達成率			100.0%	153.6%			達成率								
連携先支援機関・団体数(団体)		目標値		51	52	53		41%	目標値						
		実績値		55	69				実績値						
		達成率		107.8%	132.7%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
青少年自立支援センター相談件数(件)	目標値		1,070	1,080	1,090		a	3相談・支援機関のワンストップ化による利用者の利便性の向上、広報活動の強化の結果、おおいた総合相談所の相談件数が増加した。青少年自立支援センターにおいてもスペース拡充によりプライバシーの保護が図られ、来所者数が増加した。また、支援機関等へのアプローチ支援による相談件数も増え、関係支援機関との連携充実を図ることができた。
	実績値		1,333	1,443				
	達成率		124.6%	133.6%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 本人の支援ニーズや実態に応じて、より多くの当事者が次の支援先につながるような支援が必要 相談に来られない青少年や家族等への支援(訪問支援等)の充実 市町村相談窓口(自立相談支援窓口、生活困窮者支援窓口)の利用促進及び各地域における支援機関・団体、市町村、学校等のネットワークの強化 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> これまでの相談機能に加え、まちなか活用による体験学習等、自立に向けた自立支援プログラムを提供 来所が困難な青少年等に対する支援(訪問支援等)の充実 相談者に身近な市町村の自立相談支援窓口の利用を促すとともに、各市町村に対して子ども・若者支援地域協議会等、支援ネットワークの設置及び機能強化を支援 				